

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 〇 年 〇 月 〇 日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県〇〇市〇〇 〇-〇-〇

氏 名 医療法人〇〇〇 理事長〇〇〇〇

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

※ 押印は必要ありません。
法人の場合、会社名に続けて、代表取締役等の氏名を記入してください。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

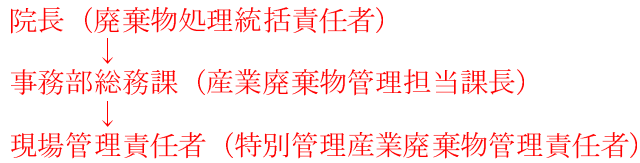
| | | |
|---------|--------------------|-------------------------|
| 事業場の名称 | 医療法人〇〇〇 〇〇病院 | 実際に廃棄物を排出している事業場を記入 |
| 事業場の所在地 | 奈良県〇〇市〇〇町 〇-〇〇 | 実際に廃棄物を排出している事業場の所在地を記入 |
| 計画期間 | 令和〇年4月1日～令和〇年3月31日 | |

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

| | | |
|----------------------|--|--------------------|
| ① 事業の種類 | 医療業 | 日本標準産業分類の区分を記入 |
| ② 事業の規模 | 病床 100床 | |
| ③ 従業員数 | 20人 | 前年度3月31日時点の従業員数を記入 |
| ④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程 | 感染性廃棄物→中間処理業者に委託し、焼却後埋立処分 一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入 | |

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

| | | 【前年度 (令和 ○ 年度) 実績】 | |
|--|---------------|---|---|
| ①現状 | 特別管理産業廃棄物の種類 | 感染性廃棄物 | |
| | 排出量 | ○○ t | t |
| | (これまでに実施した取組) | | |
| 前年度の特別管理産業廃棄物排出量の実績を廃棄物の種類ごとに記入。また、排出削減に関して実施した取組を記入。 | | 意識向上のための講習会実施 | |
| | | 特別管理産業廃棄物の種類が2種類以上存在する場合には、該当するページをもう一枚作成するか行を追加してください。 | |
| | | 【目標】 | |
| ②計画 | 特別管理産業廃棄物の種類 | 感染性廃棄物 | |
| | 排出量 | ○○ t | t |
| | (今後実施する予定の取組) | | |
| 今年度の特別管理産業廃棄物排出量の目標値を廃棄物の種類ごとに記入。また、排出削減に関して実施する取組を記入。 | | 意識向上のための講習会実施 | |

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

| 前年度の実績 | | (分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) |
|----------|--|-----------------------------------|
| ①現状 | | 感染性廃棄物は容器に入れ、他の廃棄物と区別して保管している。 |
| 今年度の取組予定 | | (今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) |
| ②計画 | | 今後も感染性廃棄物は容器に入れ、他の廃棄物と区別して保管する。 |

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

自ら行った前年度の特別管理産業廃棄物の再生利用量の実績を廃棄物の種類ごとに記入。また、再生利用に関して実施した取組を記入。

【前年度（令和〇年度）実績】

| | | |
|-----------------------|-----|-----|
| 特別管理産業廃棄物の種類 | — | — |
| 自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量 | — t | — t |

(これまでに実施した取組)

それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入するか空白とする。

【目標】

| | | |
|----------------------|-----|-----|
| 特別管理産業廃棄物の種類 | — | — |
| 自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 | — t | — t |

(今後実施する予定の取組)

②計画

自ら行った今年度の特別管理産業廃棄物の再生利用量の目標値を廃棄物の種類ごとに記入。また、再生利用に関して実施する取組を記入。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

前年度の自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、中間処理により減量した産廃の量の実績を廃棄物の種類ごとに記入。

【前年度（令和〇年度）実績】

| | | |
|--------------------------|-----|-----|
| 特別管理産業廃棄物の種類 | — | — |
| 自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量 | — t | — t |
| 自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量 | — t | — t |

(これまでに実施した取組)

【目標】

| | | |
|--------------------------|-----|-----|
| 特別管理産業廃棄物の種類 | — | — |
| 自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量 | — t | — t |
| 自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量 | — t | — t |

(今後実施する予定の取組)

②計画

今年度の自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量と、中間処理により減量した産廃の量の目標を廃棄物の種類ごとに記入。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

前年度の自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量の実績を廃棄物の種類ごとに記入。

②計画

今年度の自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量の目標を特別管理産業廃棄物の種類ごとに記入。

【前年度（令和〇年度）実績】

| | | |
|-----------------------|-----|-----|
| 特別管理産業廃棄物の種類 | — | — |
| 自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量 | — t | — t |
| (これまでに実施した取組) | | |
| — | | |

【目標】

| | | |
|----------------------|-----|-----|
| 特別管理産業廃棄物の種類 | — | — |
| 自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量 | — t | — t |
| (今後実施する予定の取組) | | |
| — | | |

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

前年度の全処理委託量のほか、内数として優良認定処理業者、再生利用者、認定熱回収業者、認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量の実績を、特別管理産業廃棄物の種類ごとに記入。

【前年度（令和〇年度）実績】

| | | |
|---------------------------|--------|---|
| 特別管理産業廃棄物の種類 | 感染性廃棄物 | |
| 全処理委託量 | 〇〇 t | t |
| 優良認定処理業者への処理委託量 | 〇〇 t | t |
| 再生利用者への処理委託量 | 〇〇 t | t |
| 認定熱回収業者への処理委託量 | 〇〇 t | t |
| 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 〇〇 t | t |

(これまでに実施した取組)

委託先処理業者の実地確認を実施

| 【目標】 | |
|--|--------|
| 特別管理産業廃棄物の種類 | 感染性廃棄物 |
| 全 処 理 委 託 量 | 〇〇 t |
| 優良認定処理業者への処 理 委 託 量 | 〇〇 t |
| 再生利用業者への処 理 委 託 量 | 〇〇 t |
| 認定熱回収業者への処 理 委 託 量 | 〇〇 t |
| 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量 | 〇〇 t |
| (今後実施する予定の取組) | |
| 優良認定処理業者を選定する。 委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。 | |
| 【前年度（令和 〇 年度）実績】 | |
| 特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。) | 〇〇 t |
| (今後実施する予定の取組等) | |
| (前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（PCB廃棄物の発生量を除く。）が50トンを超える方は記入してください。) | |
| 1. J W N E Tへの加入 2. 電子マニフェスト対応処理業者との委託契約 | |

②計画

今年度の全処理委託量のほか、内数として優良認定処理業者、再生利用業者、認定熱回収業者、認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量の目標を、廃棄物の種類ごとに記入。

電子情報処理組織の使用に関する事項

前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（PCB廃棄物の発生量を除く。）を記入。その量が50トンを超える者にとっては、今後の電子マニフェストの導入等に関する取組について記入。

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

| | | | | | | |
|------------|----|---------|----------|-------------------|----|-------------------|
| 担当者 連絡先 | 所属 | 〇〇部 〇〇課 | 職・ 氏名 | 〇〇担当 〇〇 〇〇 | 電話 | (〇〇〇〇) 〇〇-〇〇〇〇 |
|------------|----|---------|----------|-------------------|----|-------------------|